

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(1) 組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①組織の効率化・スリム化					
1 事務作業の見える化【担当部署:事務局総務課】					
業務基準書の改定	①職員個人毎に業務基準書の改定	①職員個人毎に業務基準書の改定	B	①人事異動等に伴い、「業務基準書」の見直し実施	①継続して「業務基準書」の見直し実施
2 ICT(情報通信技術)の推進【担当部署:事務局総務課】					
1. ICTスキルアップ5カ年計画の策定	①ICTスキルアップ5カ年計画の策定 ②ICTスキルアップ5カ年計画の推進	①H30年度9月末までに5カ年計画作成 ②H30年度末までにH30計画の推進	E	①5カ年計画の作成には至らなかった ②スキルアップ研修の実施には至らなかった	①スキルアップ計画の作成 ②スキルアップ研修の実施
2. ICTの推進	①ICT推進委員会の開催 ②ICT研修会の開催	①平成30年度末までにICT推進委員会を3回開催 ②平成30年度末までにICT研修会を3回開催	D	①ICT推進委員会を1回開催(5月) 情報セキュリティ関係協議、情報セキュリティ監査協議 ②ICT研修会を開催(新規採用職員オリエンテーション時に情報セキュリティ研修を実施)1回	①ICT推進委員会を3回開催 ②ICT研修会を開催
3. 情報管理員の連携	①隠岐病院事務部医事課、事務局介護保険課の2名の情報管理員について、業務情報共有の推進	①平成30年度末までに情報交換会を6回開催	E	①ICT推進委員会開催時に併せて1回開催(5月) 情報管理員に特化した業務情報共有が少なかった	①より専門的な情報交換が行えるよう協議時間を確保する
②住民サービスの向上					
1 地域での医療・介護・福祉・保健の連携体制づくり【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会の開催	①平成30年度末までに推進委員会を5回開催	B	①推進委員会を4回開催した ②検討事項のうち、Ⅲ介護予防事業の充実についての提案策をまとめ、Ⅳ保健・医療・介護(福祉)の連携について検討した ③中間報告書の提案策のうち、隠岐広域連合で次年度から実施する人材確保対策事業について、意見交換会を2回を実施した(島前、島後各1回)	①令和元年度末までに推進委員会を5回開催 ②検討事項、Ⅳ保健・医療・介護(福祉)の連携について提案策をまとめ、最終報告書を作成 ③今後の推進委員会の在り方、開催方法を検討
2 外来待ち時間対策【担当部署:隠岐病院】					
1. 待ち時間環境整備アンケート調査の実施	①待ち時間環境整備アンケート調査の実施及び検討会議の開催	①平成30年12月までにアンケート及び検討会議を1回開催	B	①患者満足度調査を実施:1回 ・調査結果をもとに接遇向上委員会にて検討	①患者満足度調査の結果を基に、早期対応可能な要望は取組み、その他の要望は継続的に協議、検討する
2. 待ち時間の環境整備	①待ち時間環境整備アンケートの結果に基づき、検討会議において待ち時間環境整備対策計画を作成、実施	①平成30年11月までに対策計画に基づき、対策案を実施	B	①QC活動(外来看護科)において外来待ち時間の表示を試行的に実施した ・H30年10月の1か月間実施し、患者満足度調査で効果を検証	①待ち時間に対する意見・要望は多くあり、継続的に協議、検討する
3 健診・ドック等予防医療の推進【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(1) 組織・機構の見直し

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
1. 疾病の予防医療に関する正しい知識の啓発活動	①特定健診啓発強化月間を設定し、来院患者への受診推奨を実施 ②広報誌等により人間ドック・健康診断に関する啓発を実施	①平成30年度末までに1回実施 ②平成30年度末までに2回実施	B	①特定健診強化月を10月に設定し受診推奨を実施 ②広報誌「まめなかの」によりドック・健診の啓発活動を実施:1回	①当院だけの取り組みに終わらず、隠岐の島町と連携し啓発活動に取り組む

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
- B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
- C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
- D: 計画の半分程度しか実施されなかった
- E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①財源の確保					
1 遊休資産の活用【担当部署:事務局総務課】					
遊休資産活用検討委員会の開催	①遊休資産活用検討委員会を開催し遊休資産活用計画を策定 ②遊休資産活用計画の推進	①H30年度9月末までに活用計画を策定 ②H30年度末までにH30計画の推進	B	①遊休資産活用検討委員会を開催(8月) 遊休資産の活用案決定 (旧消防庁舎、旧空港管制塔、仁万の里旧生活居住棟、いずれも周辺の安全管理を行い、概ね5年程度は現状維持)	①各施設を保全し現状維持
2 介護保険料未収金対策の強化【担当部署:事務局介護保険課】					
1. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①H30年度末までに訪問徴収を6回実施(目標収納率:99.3%)	B	①平成30年度は、庁内での訪問徴収を6回、介護保険課担当者の訪問徴収を毎月実施した ②平成30年度介護保険料収納率は、99.7%と目標を達成した	①庁内での訪問徴収を6回実施 ②目標収納率99.3%
3 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐島前病院】					
1. レセプト請求業務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①H30年度末までに研修会を1回実施	D	①実施には至らなかった	①実施できるよう計画する
② 2. 施設基準等に係る診療報酬届出事務に関する研修会の開催	①研修会の開催	①H30年度末までに研修会を1回実施	D	①実施には至らなかった	①実施できるよう計画する
3. 院内会議(査定率等の報告)の開催	①院内会議(査定率等の報告)の開催	①H30年度末までに院内会議(査定率等の報告)を12回実施	A	①毎月第2火曜日に12回/年 実施した	①引続き実施する
4 適正な診療報酬の算定【担当部署:隠岐病院】					
1. 保健医療適正運用委員会(医師含む)の開催	①委員会の開催	①毎月1回委員会を開催	E	①実施には至らなかった	①適正な診療報酬の算定に向け、委員会を開催して取り組みを行う
2. 医事係職員による医療従事者向け診療報酬勉強会の開催	①勉強会の開催	①H30年度末までに勉強会を2回実施	B	①診療報酬改訂に対する職員研修会を開催:年1回 ②レセプト分析結果報告会を開催:年1回	①職員全体の診療報酬に対する知識を深めるため、職員向けの勉強会を開催する
3. 診療部会議(査定率等の報告)の開催	①診療部会議における査定状況の報告	①診療部会議における査定状況の報告	B	①毎月1回開催の診療部会議において査定率の状況及び査定内容の報告を実施した	①査定率の高い状況が続いていることから、更なる取り組みが必要であり、査定分析を行い対応を検討する
5 未収金対策の強化【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
1. 退院精算連絡票の活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	①すべての入院患者へ、退院時に退院精算連絡票を活用	B	①すべての入院患者に対して退院精算票を活用することにより未収金の発生抑制に取り組んだ	①退院精算票及び当日未支払者への誓約書記載の継続 ②外来未収金対策について発生の抑制策を検討する
2. 定期的な訪問徴収の実施	①定期的な訪問徴収の実施	①H30年度末までに訪問徴収を6回実施(目標:過年度未収金残高2%削減)	E	①訪問徴収を1回実施 ②未収金回収に関する運用を再検討し、取り組みを開始した	①決定した運用手順に沿って未収金回収に取り組む
②経費削減					
1 勤務時間の弾力的な運用【担当部署:事務局総務課】					
1. 時差出勤制度の導入の検討	①時差出勤制度の導入の検討	①平成29年度末までに制度導入の検討	-	①平成29年度に導入	①平成29年度に導入
2. 時差出勤制度の実施	①時差出勤制度の実施	①平成30年度以降実施及び検証	B	①隠岐病院の早朝外来受付業務において実施	①今後も他業務への導入検討、実施
2 業務委託内容(仕様書)の検証及び診療材料の縮減【担当部署:隠岐病院】					
1. 業務委託検討委員会の開催	①業務委託検討会議の開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	①平成30年度に検討会議を1回開催 ②業務委託内容(仕様書)の検証	D	①業務委託検討会議は開催しなかった ②各種委託契約の内容見直しを担当部署において実施し、業務範囲の見直し及び委託料の見直しを実施した	①継続的に業務委託の内容検証を行うとともに、新たな委託等の必要性について検討する
2. 医薬品・診療材料委員会の開催	①医薬品・診療材料委員会の開催 ②後発医薬品の推進	①平成30年度末までに医薬品・診療材料委員会を6回開催 ②後発医薬品の採用状況	D	①医薬品・診療材料委員会3回開催 ②後発薬品採用数240品目(H29)→250品目(H30)	①効率的・効果的な医薬品の購入方法について検討する ②後発薬品の採用率が低い状況にあることから、採用率の向上に向けた取り組みを行っていく
③施設の整備及び管理					
1 指定管理施設(超高速船レインボーJ、フェリーおき、レインボープラザ及び仁万の里)の適切な管理運営【担当部署:事務局総務課】					
1. 指定管理者評価委員会の開催	①評価委員会の開催	①平成30年度末までに各評価委員会を1～2回開催	B	①「超高速船レインボーJ、フェリーおき指定管理者評価委員会」2回開催、「仁万の里指定管理者評価委員会」1回開催	①評価項目等の見直しを行いながら、定期的に評価委員会を開催する
2. 評価結果に基づく要望書の提出	①評価結果に基づく要望を各指定管理者提出、改善を求める	①平成30年度末までに要望書を1～2回提出、改善を求める	B	①隠岐汽船㈱に2回提出、社会福祉法人博愛に1回提出	①評価結果に基づき定期的に要望書を提出し改善を求める
2 消防庁舎及び職員宿舎の施設整備【担当部署:消防本部】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(2) 健全な財政運営

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
1. 消防庁舎(分署(西ノ島町)、海士出張所)整備方針検討	①庁舎整備検討会議の開催	①平成30年度末までに検討会議を1回開催	B	①隠岐島消防署島前分署、海士出張所庁舎整備計画(案)を関係町村に説明した	①関係町村の中期財政計画に反映できるよう引き続き調整する
2. 職員宿舎の確保	①庁舎整備検討会議の開催(構成町村等公営住宅活用協議)	①平成30年度末までに検討会議を1回開催(構成町村等公営住宅活用協議)	D	①庁舎整備計画(案)説明時に職員宿舎について協議した	①関係町村の中期財政計画等に反映できるよう引き続き調整する

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
- B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
- C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
- D: 計画の半分程度しか実施されなかった
- E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

(3) 定員管理

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①職員定数の適正化					
1 行政職職員定数の適正化【担当部署:事務局総務課】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H30年度5月末までに職員配置計画を策定	B	①職員配置計画を策定(4月)	①同時期に職員配置計画を策定
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H30年度5月末までに職員採用計画を策定	B	①職員採用計画を策定(4月)	①同時期に職員採用計画を策定
2 看護師及び医療技術職員定数の適正化【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H30年度5月末までに職員配置計画を策定	C	①職員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある	①職員配置計画を策定後、適正な人員配置を行う
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H30年度5月末までに職員採用計画を策定	C	①職員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である	①職員配置計画を策定後、計画に基づいた採用を行う
②住民サービスの向上					
1. 職員配置計画を策定し、適正な人員を配置	①職員配置計画を策定	①H30年度5月末までに職員配置計画を策定	C	①人員配置計画を策定したが、必要人員の再検討を実施中であり見直しの必要性がある	①職場の状況に応じた必要配置人員の見直しを行う
2. 計画的な職員採用	①職員採用計画を策定	①H30年度5月末までに職員採用計画を策定	C	①人員配置計画に基づく採用計画となるが、必要人員の配置計画の見直しによって再検討が必要である	①見直しを行った人員配置計画に基づく採用計画を策定する
4 消防職員定数の適正化【担当部署:消防本部】					
職員定数の適正化	①職員配置計画を策定	①H30年度末までに職員配置計画を策定し、検討会議を実施する	E	①職員配置計画の策定、検討会議の実施には至らなかった	①職員配置計画を策定する(海士・知夫両出張所における救急隊員3名乗車体制を実施するためなど、消防力強化のための見直しを勧案)

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
 B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
 C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
 D: 計画の半分程度しか実施されなかった
 E: 計画がほとんど実施されなかった

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

（4）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
①人材育成					
1 職員のレベルアップ【担当部署:事務局総務課】					
1. 研修計画の策定	①研修計画の策定	①H30年度研修計画を策定	B	①研修計画を策定(H30.3月)	①同時期に研修計画を策定
2. 各種研修会の参加	①自治研修所等で開催する研修への参加促進 ②隠岐地区で開催される研修への参加促進	①5名程度の参加 ②業務に支障をきたさない範囲で可能な限り参加	B	①自治研修所研修への参加(5名受講) ②隠岐地区開催研修への参加(39名受講)	①計画に基づき研修会への参加 ②計画に基づき研修会への参加
3. 情報通信技術を用いて行う研修への参加	①e-ラーニング研修への参加促進	①業務に支障をきたさない範囲で可能な限り参加	B	①e-ラーニング研修の実施(30名受講)	①e-ラーニング研修への参加継続
2 人材育成【担当部署:隠岐島前病院】					
1. 院内会議の回覧周知	①経営状況等资料を各部署へ回覧し情報を共有化	①H30年度末までに資料回覧を12回実施	A	①毎月第2火曜日に実施(12回/年)	①継続して実施する
②2. 経営講習会等	①研修会の開催	①H30年度末までに研修会を2回実施	D	①実施には至らなかった	①全体の研修会は、困難なため、各部署(個別)毎に実施できるよう計画を見直す
3 全職員参加型の経営管理手法の導入【担当部署:隠岐病院】					
1. 経営改革計画の実施	①計画の実施	①H30年度中に計画を策定、実施	E	①経営改革計画の策定完了に至らなかった	①令和元年度に導入予定の経営コンサルタント業務により計画を策定する
2. 院内会議の回覧周知	①経営状況の職員周知	①経営状況の周知:年12回実施	B	①毎月1回管理職会議にて経営状況の報告を行い、収益増及び経費削減の取り組みのポイントを説明	①経営状況の報告については継続していくが、内容を更に検討する
3. 経営改革推進委員会の開催	①委員会の開催	①H30年度末までに委員会を1回実施	C	①委員会を随時開催し、経営コンサルタント業務の導入について検討	①経営コンサルタント業務導入による効果的な計画策定のため、定期的に委員会を開催する
4 QC活動(小グループで業務改善等を行う活動)の推進【担当部署:隠岐病院】					

隠岐広域連合行財政改革大綱実施計画の評価及び課題について（平成30年度）

（4）人材育成・確保の推進

取組項目	実施項目		評価	評価の詳細(H30)	課題(次年度の実施内容)
	実施内容	数値目標・実施期限等			
全員参加型のQC活動を実施	①QC活動及びQC活動発表会の実施	①H30年度末までにQC活動及びQC活動発表会を実施	A	①QC活動の実施と発表会を開催し業務改善に取り組んだ	①継続してQC活動に取り組んでいく
5 職員のレベルアップ【担当部署:消防本部】					
1. 職員のレベルアップ	①自治研修所、消防学校等で開催する研修への参加促進 ②県内開催の災害訓練等への参加促進 ③消防本部内等において受講職員を講師とし、フォローアップ研修の開催	①H30年度研修計画を策定 ②H30年度災害訓練等への参加 ③H30年度末までにフォローアップ研修の開催	B	①消防学校で開催する研修計画を作成、実施 ②災害訓練に参加 緊急消防援助隊として広島県呉市へ災害派遣(10名)、中四国ブロック緊急援助隊訓練中止、 ③フォローアップ研修15回(救急訓練75回)	①自治研修所、消防学校で開催する研修への参加促進 ②県内開催の災害訓練等への参加促進 ③消防本部内等において受講職員を講師としてフォローアップ研修の継続
②人材確保					
1 島の医療人育成センターの設立【担当部署:隠岐病院】					
1. 情報発信	①島の医療人育成センターの活動状況等を情報発信	①平成30年度末までにホームページ、フェイスブック等で6回情報発信。 ②平成30年度末まで広報を2回発行	C	①フェイスブック情報発信:年6回(通年の情報発信が必要) ②センター広報誌「センターだより」発行:年2回	①SNSやセンターだよりをはじめとする各種媒体を活用して情報発信を積極的に行っていく
2. 初期臨床研修医の受入態勢の強化	①受入体制の充実と連携医療機関の拡大	①平成30年度末までに派遣医療機関を5機関受入れ ②平成30年度末までに受入研修医師を24名受入れ	A	①平成30年度初期研修医派遣元医療機関数:10病院 ②毎月2名の初期研修医の受入れを実施	①引き続き毎月2名の初期研修医の受入れを行うが、選ばれる病院となるために、研修内容等の充実を図る ②宿舎等、受入態勢の充実を図る
3. 専門医制度の研修受入体制の構築	①専門医研修プログラムの連携化	①平成30年度末までに新たな専門医研修プログラムと連携 ②平成30年度以降、専門医研修プログラムの実施及び検証	A	①専門医研修プログラム連携病院の登録:救急科(大阪市立総合医療センター)これまで合計19プログラムと連携 ②平成30年度より新専門医制度が開始され、専攻医の受入は次年度以降の予定であり、受入準備を進める	①専攻医の受入について整理し、準備する

評価

- A: 計画通り実施され、相当程度の効果があった
 B: 計画通り実施され、一定程度の効果があった
 C: 計画通り実施されたが、効果が薄かった
 D: 計画の半分程度しか実施されなかった
 E: 計画がほとんど実施されなかった